

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 阿部信一
TEL 025-273-1572

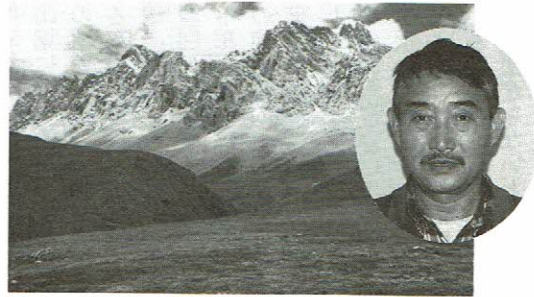
事務局 井村健一
新潟市北区すみれ野2-10-12
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表
浅野亘寛
長岡市金町2-2-17
TEL 0258-52-3998

会長に就任して

新潟県山岳協会

会長 阿部 信一



新潟県山岳協会会長の重責をやらせて頂く事となりました。若輩者の私にこの重責が果たせられるか不安でなりません。皆様の温かい絶大なご援助を心よりおねがいします。

一昨年の新潟国体成功にむけて長期に渡り協会一丸となり、無事終了したことは、遠藤前会長のもと加盟山岳会の皆様の多大なご協力の賜物と心より感謝もうしあげます。

まず初めに東日本大震災で被害に会われた方々に心から御見舞い申し上げます。

この未曾有の試練に言葉もありません。ただただ、おの持てる力を精一杯出し合いい、その力をあわせて、早く平常の生活に戻れることを心より御祈念申し上げます。

さてこの度緒先輩方の推薦で平成23年度4月より、遠藤家之進正和会長の後を継ぎ、

感出てきたのもいけません。日本山岳協会も其の点を重視し、従来の指導委員制度の中にクライミング指導委員を設け対処をはじめました。

文科省所属である日本山岳協会、その傘下である県山協も国体責任団体である以上、協力継続はやむをえないとお

もいます。いままでみたいな協会一丸という形ではなく一委員会行事という事ですすめていければとおもっています。

フリークライミング自身は老若男女問わず人気も高く、やりたい人はふえてきていくと思っています。自然の岩場での爽快感、沢登りの豪快さ等体験して山岳活動に参加してもらいましょう。加盟山岳会の活発化と登山技術の向上、安全登山の普及、自然保護の啓蒙という原点を大事にしながらすすめていけたらとおもっています。

角田山、弥彦山にも約半月遅れの、マンサク、雪割草、カタクリ、イチゲ、などが待ちきれず一斉に春の訪れを告げています。あの柔らかなブナの新緑が一日一日峰を駆け上る。峰登りももうすぐです。この素晴らしい豊かな新潟の自然に囲まれ、遊ばされ、生かされている新潟の「山屋」の幸せを自分ひとりのものとせず、山岳会、ひいては協会全体の喜びに変えていただければ幸いと念じています。2年間お世話になりますがいよいよお話しになります。

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス
株式会社ユニオン航空サービス(株) 日本旅行業協会会員
本社:新潟県長岡市金町1丁目3番5号
<http://www.uks.co.jp>

□長岡営業所 〒840-0004 長岡市金町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123
一級旅行業取扱主任者 森 陽樹

□新潟営業所 〒950-0910 新潟市東山3丁目2番11号 ☎ (025)246-2266
一級旅行業取扱主任者 中島 聖

理事長就任にあたり

新潟県山岳協会

理事長 遠藤 俊一

去る4月9日の平成23年度評議員会において、理事長に選出された遠藤俊一でございます。他に適任の方が大勢おられるのに、私が、まさか理事長に就任することになるとは、思ってもみませんでした。

と、第三章目的では、「登山を通じ、県民体育の向上と加盟団体相互の親睦融和を図る」とし、第五章事業では、「国体山岳競技に関する事項、県体協登山部門に関する事項、日山協に関する事項、登山施設の改善促進、技術指導に関する事項、遭難対策に関する事項、自然保護に関する事項、加盟団体の主管する事業に対する相互協力に関する事項、その他本会の目的達成に必要な事項」としております。

さて、本会も、一昨年、新潟国体の山岳競技を主催し、皆様方のご協力のもと成功裡に終了させることが出来ましたが、今、ポスト国体後の進むべき道の模索が始まっております。

この規約を改めて読み返し、二者択一の中で今後の方向を見出すのではなく、幅広くいろいろな事業を展開して行かなければならないと思うところであります。

山岳競技としてのクライミングと、自然を舞台として行われている登山や登山のどちらに比重を置いて進むべきか、加盟団体から、いろいろなご意見が出ております。

幸い、各委員会では毎年、多くの事業を実施しており、これらの事業を、他県協会の事業も参考にしながら、今後

本協会規約をひもときます

展開させて行くべきではないかと考えております。我々は、自然や山を舞台として活動している仲間の集まりの団体です。この共通の土俵を基盤に諸問題の解決策を見出し、ければ幸甚です。

また、加盟団体の御意向をお聞きし、事業に反映させて行くことも重要と考えております。そして、多くの加盟団体に存在感のある会として運営して行きたいと思っております。

県下66加盟団体が、夫々事業を実施されているうえに、本会の事業があり、日程が重なることも多々あるかと思っておりますが、事前に事業日程を公表しておりますので、ぜひ本会の事業へも積極的なご参加いただくようお願いいたします。

終わりに、加盟団体からの会費収入を主要財源として運営しており、財政面の制約があります。伝統ある新潟県山岳協会の発展に微力ではありますが、ご尽力して行きたいと考えております。

至らぬ私ではありますが、ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

本協会規約をひもときます

『東北3県スポーツ友情募金』へのご協力について (お願い)

(財)新潟県体育協会会長 馬場 潤一郎

去る3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により「東日本大震災」と呼ばれるほどの未曾有の災害が発生いたしました。被災された皆様にご心よりのお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。本県にも多くの方々方が避難されてきており、県を始め各市町村、民間、ボランティアの皆さんが避難者の受け入れや支援の手を差し伸べているところです。そのような中で、避難された子供たちが地元の子供達とのスポーツ活動により、徐々に元気を取り戻し、交流を深める姿は、周りの皆さんにも癒しと明るさを与えているとの報道も見られ、中越大地震、中越沖地震同様、避難生活でのストレスから「こころ」と「からだ」の健康を取り戻すためにスポーツの果たす意義は大変大きいものと改めて痛感しています。「スポーツで笑顔と元気を」を合言葉として岩手、宮城、福島県の皆さんのスポーツ活動再開の一助としていただくため、3県の体育協会への『東北3県スポーツ友情募金』を募ることに致しました。貴団体の役員、加盟団体等に広くご案内をいただき、可能な限り募金をお取りまとめ頂ければ幸いです。詳細は本会のホームページの「スポーツを愛する皆様へ」をご覧ください。

当募金とは別に、日本体育協会でも義援金の募集を行っておりますのでご紹介いたします。

<http://www.niigata-sports.or.jp>

第14回 新潟県クライミング 選手権2011を終えて

新潟県山岳協会競技委員長 今井浩二

第14回新潟県クライミング選手権2011が国際自然環境アウトドア専門学校開催された。この大会は平成23年度の山口国体の予選も兼ねた大会である。県内外から総勢27名の選手がしのぎを削った。

カテゴリーは小学生、中学生男女、少年（高校生）男女、成年男女と7カテゴリーを設定した。国体予選も兼ねていることからリード競技とボルダリング競技の2種目を実施、その合計で総合順位と決定した。リードが予選と決勝の2本（予選通過は4名の特別ルールで実施）、ボルダリングは3課題で勝負を争った。最初の競技はリード、7種別同時のオブザベーションの後、9時40分にリード競技が小学生、中・高生男子が同時スタートで開始された。7カテゴリーあり、しかも男女でルートが異なるため、同時進行での競技運営となったが、それぞれの部署で的確に判断

し、動いていただいたおかげでスムーズに運営することができた。

リード競技終了後、ほとんど休むことなくボルダリング競技がスタートした。昨年度は2課題で競技時間は5分であったが、今年度は1課題に対して3分ずつ競技を行った。進行の関係でボルダリングのオブザベーションを全体で実施せず競技時間を含んだため、いかにルートを早く読み、登りを組み立てるかも重要な要素となった。



成年総合1位の岩橋選手

小学生

ゼッケン No.	氏名	リード位	ボルダリング順位	総合順位
7	高橋 帝雅	1	1	1
3	青山 千夏	1	3	2
5	三宅 誠梧	1	4	3

中高生男子

ゼッケン No.	氏名	リード位	ボルダリング順位	総合順位
12	頭師 雅人	1	1	1
14	南雲 純太	2	1	2
13	竹越 諒	3	3	3

中高生女子

ゼッケン No.	氏名	リード位	ボルダリング順位	総合順位
8	頭師 彩乃	1	1	1
10	大月英理香	1	3	2
9	渡辺優梨菜	3	2	3

成年男子

ゼッケン No.	氏名	リード位	ボルダリング順位	総合順位
26	岩橋 由洋	1	1	1
23	宮口 直樹	1	2	2
22	松尾 隆久	4	3	3
25	向井 峻	3	4	3

成年女子

ゼッケン No.	氏名	リード位	ボルダリング順位	総合順位
17	片桐麻由子	1	1	1
19	瀧澤 愉未	2	2	2
18	大羽 望未	3	3	3

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm



滝澤選手のクライミング

結果は表の通りとなつてい
る。なお今回の総合成績は、
リードの順位とボルダリング
の順位の結果を総合成績とし
て出している。
なお、今回の大会でいくつ
か反省点が上がっているので、
次年度の課題として考えてい
きたい。

1 ルート作成について
小学生のリード競技におい
て、予選・決勝ともに多くの
完登者がでて、結果としてボ
ルダリングの結果で総合順位
が決定することとなった。ルー
ト作成が前日に行われたが、
1人が2課題をつくらなければ
ならず、厳しい時間帯で
の作業であり、登り直し等が
十分行うことができなかった。
ルート作成作業の人員の確保

が必要である。

2 参加選手の減少について
昨年度の参加選手は47名、
今年度の参加選手は24名であ
った。原因としては、参加申込
の把握が遅くなり、前年度参
加し今年度返事がなかった選
手への参加確認ができなかつ
たこと、国体予選ということ
で参加をためらった選手が多
くいたことが考えられる。次
年度は参加選手の把握を早く
行うとともに、参加をためら
っている選手への参加の呼びか
けを行いたい。

3 役員の負担について
参加選手が少なかった関係
で、役員の交通費が現時点で
支払いできていない状況にな
っている。また、役員には昼食
の自己負担もお願いせざるを
得ない状況である。このよう
な現状であると来年度役員と
して手伝いをいただけなるの
ではないかと心配な面があり、
今後検討が必要であると考え
る。役員がいなければ今後大
会自体を運営できなくなる可
能性も出てくる。

4 選手のルール徹底につ
いて
ボルダリング競技が国体の
山岳競技種目となつてすに

3回の国体が行われた。
2回目の国体、国体予選
の頃はルールについては
役員も選手も神経質なほ
ど確認がなされていたが、
回数をこなすうちにルー
ルを理解している選手と
そうでない選手の2極化
が進んでいるように感じ
た。何回か国体予選や本
国体に出場している選手
はルール通りに競技を進
行することができたが、
そうでない選手は、スター
トポジションをとる(ボ
ルダリングのスタート時
に両手・両足を指定され
たところに置く)ことが
徹底されていない場面が
数回見受けられた。やは
り最低限のルールにつ
いては開会式で確認をし
ておく必要があるように感
じた。

今回の大会の結果をも
とに国体選手を選出し、
今後強化をしていくこと
になる。この「新山協ニュー
ス」を御覧の皆様から選
手、監督、強化支援スタッ
フに多大な声援御協力を
いただければ幸いです。

加盟山岳団体 各位

新潟県山岳協会 会長 阿部 信一
理事長 遠藤 俊一
総務委員長 宮崎 幸司

—— 賛助会員の募集について ——

平素は、本会の事業運営に格別なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、本会におきましては、加盟団体からの分担金で、下記の各種事業を実施しております。
しかしながら、その実施に当たっては、十分な財源が確保されている状況ではございません。そのため、場合によっては、担当各位のボランティアに依存しているのが実情でございます。
つきましては、今年度も、本会の目的や事業に賛同する方々を、個人・団体を問わず、賛助会員として募集いたします。何卒、この趣旨にご賛同の上、ご入会いただきたくお願い申し上げます。例年、多くの個人の方々からご賛同いただいておりますが、加盟山岳団体様からのご賛同についても、ご高配のほどお願い申し上げます。
なお、ご賛同・ご入会いただける場合は、別紙の「払込取扱票」にて下記の賛助会費をご納入の上、「賛助会員入会申込書」をご送付ください。

- 記
1. 新潟県山岳協会事業
 - (1) 国民体育大会山岳部門に関する事項
 - (2) 新潟県体育協会登山部門に関する事項
 - (3) 日本山岳協会に関する事項
 - (4) 登山施設の改善促進及び技術指導に関する事項
 - (5) 遭難対策に関する事項
 - (6) 自然保護活動に関する事項
 - (7) 加盟団体が主管する事業に対する相互協力に関する事項
 - (8) その他本会の目的達成に必要な事項
2. 賛助会費 年額 10,000円 以上

お知らせ

要項を送りますので指導技術
委員会委員長 嶋原哲也まで
ご連絡をお願いいたします。

Eメール

shimashima9600@frouge.
pala.or.jp

- ・ 6月6日～16日 必着
- ◆開催日
- ・ 11月11日(金)～13日(日)
- ◆申込期間
- ・ 9月28日～10月20日 必着

【2】

平成23年度中高年安全登山
指導者講習会(東部地区)

◆開催地

・ 秋田県鳥海山系

◆開催日

・ H23年9月16日(金)～18日(日)

◆申込期間

・ H23年7月29日(金)

◎参加を希望される方には、
要項を送りますので、遭難
対策委員会委員長 井春

文までご連絡下さい。

電話

・ 025178212437

Eメール

・ ch338@prof.och.ne.jp

・ 遠藤家之進和
(むささび会)

・ 森 庄一

(長岡ハイキングクラブ)

・ 片桐 一夫

(長岡ハイキングクラブ)

・ 遠藤 俊一(一峰会)

・ 橋本 正巳

(高田ハイキングクラブ)

・ 山崎 幸和

(越後吉田山岳会)

・ 内藤 修

(直江津山岳会)

・ 桜井 正一(朝路の会)

・ 馬場潤一郎(顧問)

・ 宮崎 幸司

(長岡ハイキングクラブ)

・ 小野 健

(さわがに山岳会)

・ 七澤恭四郎

(高田ハイキングクラブ)

・ 目崎 貞良

(JAC越後支部)

・ 藤巻 道夫(糸魚川山岳会)

・ 市村 英明

(高田ハイキングクラブ)

・ 小林 由夫

(JAC越後支部)

(敬称略、順不同)

新潟県山岳協会

会長 阿部 信一

理事長 遠藤 俊一

総務委員長 宮崎 幸司

◎ 日本山岳協会、山岳

指導員(スポーツクラ

イミング)養成講習会

について

※受講資格

(1) 受講する年の4月1日現在、満20歳以上の者で、5・10をリード出来る者。

(2) 地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で

際に指導にあたっては指導者及びこれから指導者になろうとする者。

【1】

会場 神戸市登山研修所

日時

・ H23年7月16日(土)～18日(日)

・ H23年7月30日(土)～31日(日)

【2】

会場 千葉県印西市

松下公園総合体育館

日時

・ H23年8月18日(木)～21日(日)

※費用 320000円

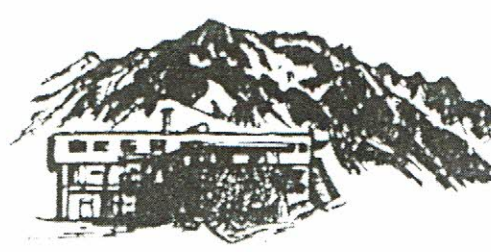
※申込期限 5月中

参加を検討される方には、

要項を送りますので指導技術

委員会委員長 嶋原哲也まで

ご連絡をお願いいたします。



◎ 国立登山研修所・日

本山岳協会の講習会と

研修会

【1】

平成23年度安全登山普及指

導者中央研修会

◆開催日

・ 7月1日(金)～3日(日)

◆申込期間

・ 7月1日(金)～3日(日)

賛助会員入会

ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご
入金を頂きましたので、ご報
告させて頂きます。

*4月1日～5月15日現在の
ご入会、ご入金状況です。

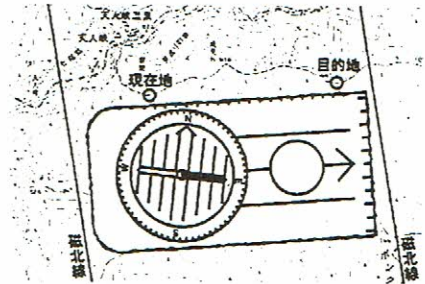
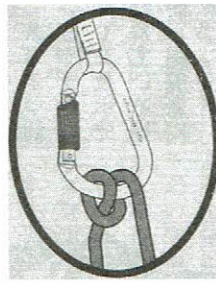
第66回国民体育大会 おいでませ！山口国体公式サイト

第66回国民体育大会山岳競技の実施要項について国体運営の簡素、効率化の取り組みと致しまして、4月中旬より公式サイトに掲載することとなりました。皆様に周知をお願いするとともに、国体の準備、開催に向けてお力添えを頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

◇公式サイト 山口市 <http://choruru.net/>

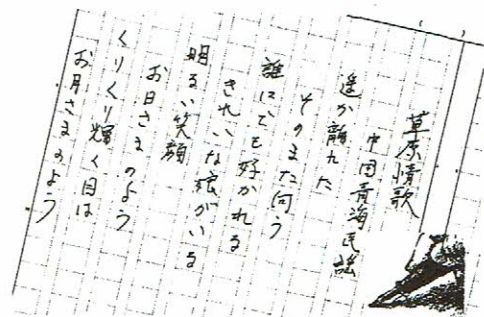
安全登山研修会講習会の開催について

新潟県山岳協会会長 阿部 信一 遭難対策委員会委員長 井 春文



- 期 日** 平成23年 7月 2日(土)～ 3日(日) ☆テーマ 一般登山における安全登山術
- 場 所** 加茂市ビジターセンター(粟ヶ岳県民休養地) ☆加茂市宮寄上2684 ☎0256-52-0080
- 宿 泊** 2日はビジターセンター泊となります。
- 参加費** 1,000円(加盟団体会員) 1,500円(一般参加者) ☆当日 受付にて徴収
- 講習内容** ○講話 航空隊から見た捜索、救助の実際 新潟県警地域課係長
○講習 一般登山における地図読み リスク管理 応急処置等
講師 日本山岳協会遭難対策常任理事 渡邊 輝男 氏
- 装 備** スリング120cm&60cm、コンパス、カラビナ環付他 2枚など必要ですが詳細は加盟団体事務局へ送り付けの案内文書で確認して下さい。
- 申 込** 6月20日(月)迄 郵送、FAX Eメールにてお願いいたします。
☆井 春文 025-782-2437 (TEL,FAX) Eメール cht38@proof.ocn.ne.jp

新山協ニュースの原稿募集のお願い!



広く原稿を募集いたします。行事・記念誌・会報・などの紹介。会の地域研究・個人の紀行文、山行記録、「チョットそこまでの低山の楽しい文」や詩、地域のアプローチや登山道・動植物・環境問題に関する感想や情報などお寄せ下さい。原稿はメール(横文、原稿用紙) 郵送1500文字程度・短文いづれでも結構です。添付用写真イラスト大歓迎します。 会報・編集委員会

〒940-0221 長岡市金町2-2-17 浅野亘寛 方

☎(0258) 52-3998 Mail:a-unkai@m8.dion.ne.jp